

令和7年度 玉津中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様に説明責任を果たすことが重要であると考え、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、学校が各調査の結果や各調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、各調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにし、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 「全国学力・学習状況調査」の調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への学習指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

1 全国学力・学習状況調査

※中学校理科はICT端末等を用いた、文部科学省CBTシステム（MEXCBT）によるオンライン方式（以下、「CBT」【=Computer Based Testing】とする）で実施。

学年		生徒数 (人)	平均正答率(%)		平均無解答率(%)	
			国語	数学	国語	数学
3 年	学校	88	58	56	4.8	6.8
	大阪市	—	52	46	6.8	11.2
4月17日	全国	—	54.3	48.3	6.7	10.6

	平均IRTスコア
理科	553
学校	553
大阪市	489
全国	503

※IRTとは、国際的な学力調査等で採用されているテスト理論です。

この理論を使うと、異なる問題から構成される試験・調査の結果を、同じものさし（尺度）で比較することができます。

※IRTスコアとはIRTに基づいて各設問の正誤パターンの状況から学力を推定し、500を基準にした得点で表すものです。

調査結果から

○全国学力・学習状況調査

【成果と課題】

〈国語〉

平均正答率は、大阪府、大阪市の平均を6ポイント上回った。また全国平均も3.7ポイント上回り、一定の成果が見られる結果となった。学習指導要領の内容の「言葉の特徴や使い方に関する事項」、「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」についてはいずれも大阪府、大阪市の平均を上回っていた。全国平均と比較してみると全体の正答率、「言葉の特徴や使い方に関する事項」、「書くこと」、「読むこと」においては上回ったが、「話すこと・聞くこと」の内容においてのみ全国平均を1.5ポイント下回った。

〈数学〉

平均正答率は、大阪市平均を10ポイント、大阪府平均を9ポイント、全国平均を7.7ポイント上回り、一定の成果が見られる結果となった。学習指導要領の内容については、どの領域においても大阪市、大阪府、全国の平均を上回った。特に評価の観点における「思考・判断・表現」については大阪市平均を14.9ポイント、大阪府平均を14.7ポイント、全国平均を13ポイント上回る結果だった。

〈理科〉

平均IRTスコアは、大阪府の平均を66ポイント、全国の平均を50ポイント上回り、一定の成果が見られる結果となった。

〈生徒質問紙〉

「自分には、良いところがあると思いますか」、「友達関係に満足していますか」の質問の対して肯定的な回答が、大阪市平均・全国平均とともに上回っており、自己肯定感の醸成に一定の成果が見られる。またこのような状況が落ち着いて学習に取り組む習慣につながっていると考える。

【今後に向けて】

学力面においては、国語・数学・理科とも全国平均を超える学力を維持できている。しかし一方で、国語での「自分の考えとどのように考えた理由を書く問題」や数学での「方法を説明する問題」などでは無回答率が高いことがうかがえる。

ロールプレイングやグループディスカッションなどを教育活動に取り込み、対話的学びを深めて自分の考えを言葉や文章にする力をつけていきたい。

生活面においては、自己肯定感やいじめを許さない意識において、肯定的な回答が全国平均を上回っている。今後も学校行事や部活動等、生徒の活動の充実を図り、さらなる意識の向上を目指していきたい。

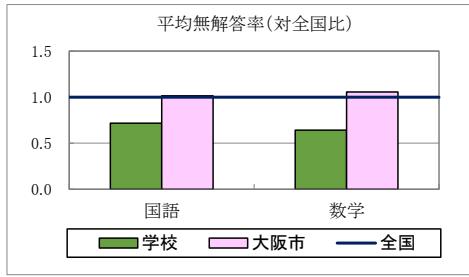
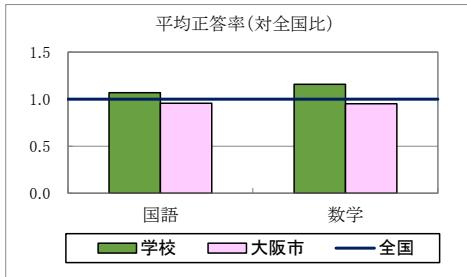
**令和7年度 玉津中学校のあゆみ
—結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—**

全国学力・学習状況調査 教科に関する調査より

【全 体】

	平均正答率(%)	
	国語	数学
学校	58	56
大阪市	52	46
全国	54.3	48.3

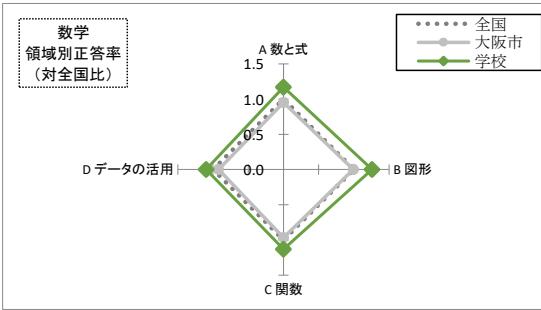
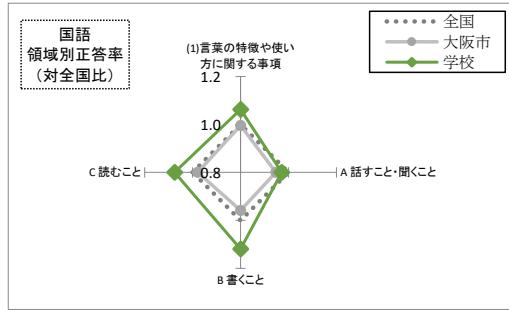
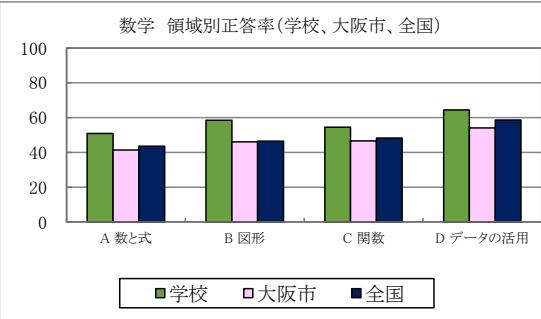
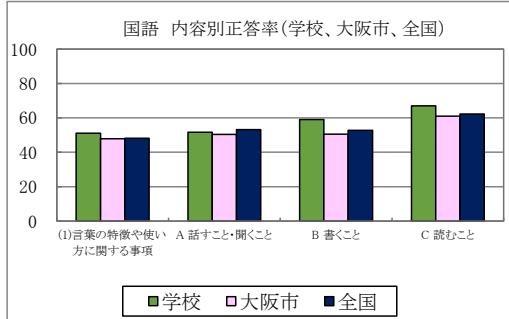
平均無解答率(%)	
国語	数学
4.8	6.8
6.8	11.2
6.7	10.6



【国 語】

学習指導要領の内容	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方にに関する事項	2	51.1	47.9	48.1
(2)情報の扱い方にに関する事項	0			
(3)我が国の言語文化に関する事項	0			
A 話すこと・聞くこと	4	51.7	50.4	53.2
B 書くこと	5	59.1	50.6	52.8
C 読むこと	3	67.0	61.0	62.3

学習指導要領の領域	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と式	5	50.9	41.4	43.5
B 図形	4	58.5	46.1	46.5
C 関数	3	54.5	46.6	48.2
D データの活用	3	64.4	54.0	58.6

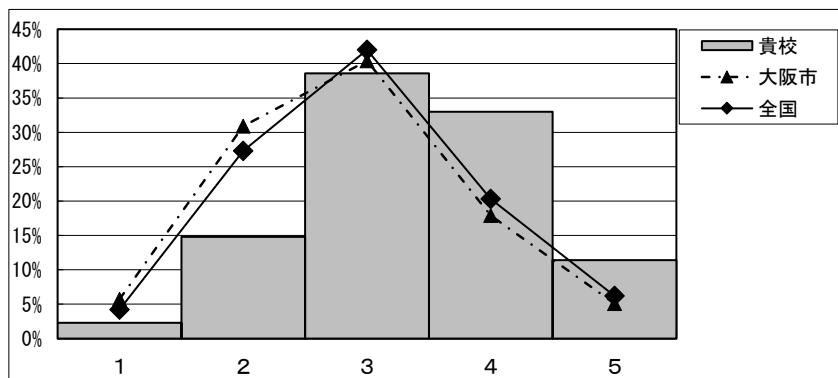
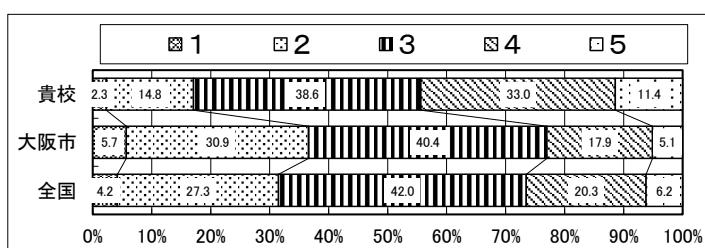


令和7年度 玉津中学校のあゆみ
—結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

全国学力・学習状況調査 教科に関する調査より

【理 科】

	平均IRTスコア
学校	553
大阪市	489
全国	503



令和7年度 玉津中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

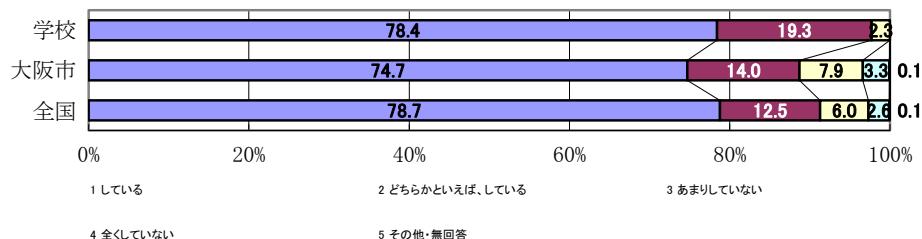
生徒質問より

■1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8

質問番号
質問事項

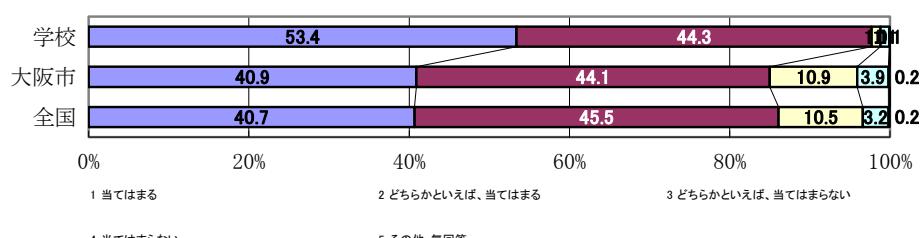
1

朝食を毎日食べていますか



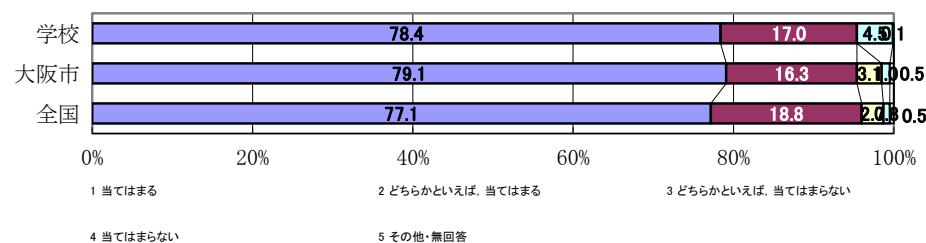
5

自分には、よいところがあると思いますか



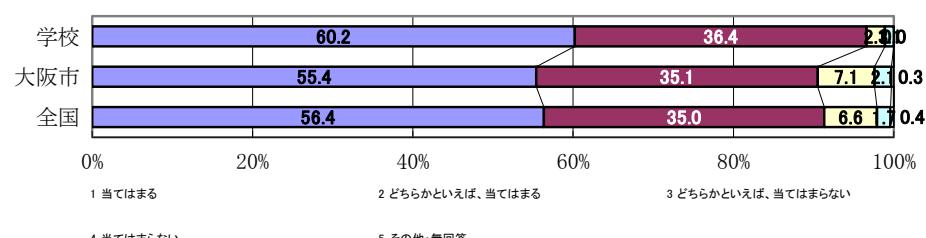
9

いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか



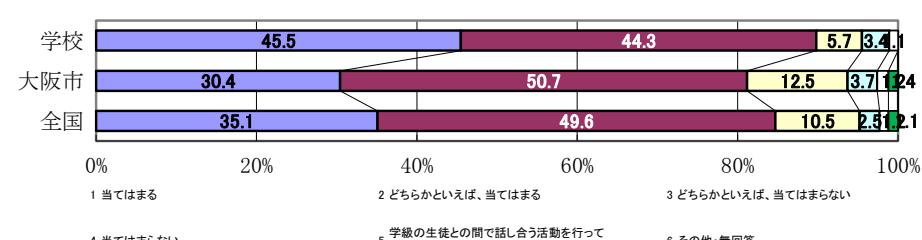
14

友達関係に満足していますか



35

学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方方に気付いたりすることができていますか



令和7年度 玉津中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

学校質問より

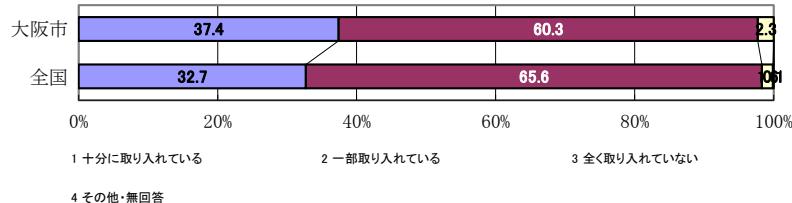
■1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8 ■9 ■10

質問番号
質問事項

13

ICTを活用した校務の効率化(事務の軽減)の優良事例を十分に取り入れていますか

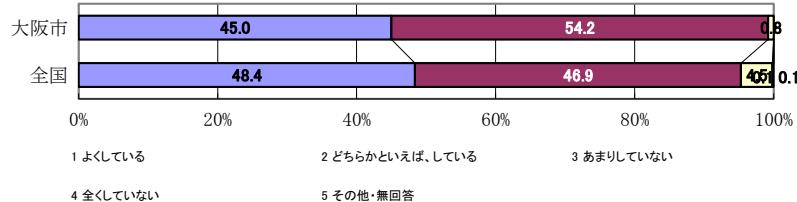
学校 「十分に取り入れている」を選択



18

授業研究や事例研究等、実践的な研修を行っていますか

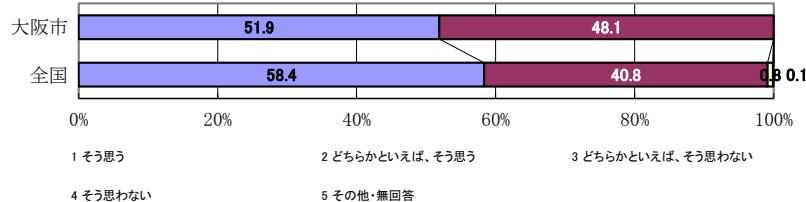
学校 「よくしている」を選択



21

学校運営上の課題への対応に当たっては、各教職員(支援スタッフを含む)の専門性を活かせるよう適切な役割分担や連携協働をしていますか

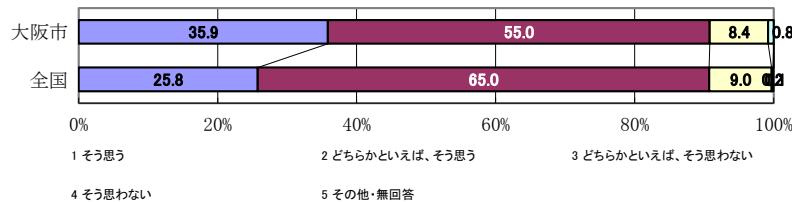
学校 「そう思う」を選択



27

調査対象学年の生徒は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを相手にしっかりと伝えることができていると思いますか

学校 「そう思う」を選択



84

令和6年度全国学力・学習状況調査の自校の結果について、保護者や地域の人たちに対して公表や説明をどの程度行いましたか(学校のホームページや学校だよりなどへの掲載、保護者会等での説明を含む)

学校 「行った」を選択

